

---

# 勘違い

宝玉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

勘違い

### 【コード】

N9501C

### 【作者名】

宝玉

### 【あらすじ】

恵梨と遊戯は同居していた。恵梨の気持ちに鈍感な遊戯は・・・？

「お帰り、遊戯」

「ただいま、恵梨」

遊戯とあたしは同居している。ただひとつの理由、「いとこ」という理由だけ。

あたしは遊戯が二重人格だって事を知っている。遊戯のことなら何だつてわかるとおもう。遊戯と杏子さんが付き合ってるんだつてことも……。あの二人はもともと仲がいいから。

あたしはいつだってやさしい遊戯が大好きだった。一人ぼっちのとき、何にもいわないで抱きしめてくれたね……。雷のなる夜に一緒に寝てくれたね。あたしはその「暖かいぬくもり」が小さい頃から大好きだった。

けれど……

遊戯のことを考えると、杏子さんといっしょのほうがいいのか？  
なんて、たまに思ってしまう。

まだあたしは小学5年なのに対して遊戯は高校2年生。背の高さは同じくらいなのに、どうして心はこんなにも離れてるの？

悲しいよ、悲しいよ……。遊戯。つてのはあたしの勝手な思い込み。

「どうした、恵梨。お前らしくないぜ？」

遊戯、か、顔が近いよ。

「ななななんでもないよ、遊戯」

あたしは、高まる鼓動と赤くなる表情を抑えられなくなった。

「どうしたんだ、本当に。顔が赤いぜ」

遊戯はあたしのおでこに自分のおでこをくつつける。なななにしていんのヨ遊戯！ は、恥ずかしい。

もう、遊戯の体温すら伝わってきて、倒れそう。

・・・ほ、本当に倒れる？ もう限界です。

「おい、おい！大丈夫か、恵梨！」

目が覚めると、そこはベッドだった。遊戯が運んでくれたのかな？  
こんなにやさしいひとを、やっぱりあきらめられないよ・・・。

よし、こ・く・は・く・！

「遊戯、話があるの・・・」

「なんだい？」

「あのさ、杏子さんと付き合ってるの？」

「？」

・・・あああああ！ 言いたくない言葉を言ってしまった！

遊戯は、なんて答えるんだろう。

「付き合ってるないけど。なんかあるのか？」

うつしや、一安心だよ。

「あたし、ね」

「？」

「ゆ、遊戯がすきなんだ！」

「何・・・言ってるんだ！」

「へ？」

もしか、他に付き合ってる人がいるとか・・・？

「そういうこと・・・」

元からあたしに勝ち目なんて合ったのかな？

「お、おい、泣くなよ・・・」

「っ……っっっ」

「おまえさあ、勘違いしてるだろ？」

「へ？」

「俺も、お前が好きだよ、恵梨」

「遊戯……」

あたしは、涙をぬぐって遊戯に抱きついた。

「遊戯、一緒に学校、途中まで行こつよ」

「ああ、いいよ」

続く……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9501c/>

---

勘違い

2010年10月9日23時16分発行